

# 金太郎だより

平成26年3月25日発行  
〒699-0501 出雲市斐川町学園 1463番地10  
社会福祉法人 金太郎の家  
TEL 0853-72-5110  
FAX 0853-72-5192



NPO法人から社会福祉法人へ  
賜ったたくさんの優しさを胸にリ・スタートします

社会福祉法人金太郎の家 理事長 阿食 かをる

寒かった今年の冬も終わり、道端にオオイヌノフグリの小さな青い花々を見かけるようになったと思うと、春が一拳に押し寄せてきました。

平素は当団体の活動に對しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私たちは、平成十一年六月に「だれもが尊厳を持って、住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らせる町づくり」の一助となることを願って任意団体を立ち上げ、平成十三年一月からは、特定非営利活動法人（NPO法人）としてささやかな活動を続けてまいりましたが、おかげ様で地域の皆様をはじめ、たくさんの皆様に支えていただき十五年を迎えることができました。

ところで、私たちは数年前より、当団体の今後のあり方について検討をいたしました。この度、本年一月二十一日に出雲市長様より認可をいただき、同月三十日に社会福祉法人 金太郎の家を設立し、新たな一歩を踏み出すことになりました。社会福祉法人格を取得することにより、当団体の基盤強化と継続性を確保し、ケアの質の向上と、新たな地域課題にも取り組むことにより、微力ながら地域への貢献を目指して参りたいと考えております。事業の継承は新年度四月一日としていきます。事業内容は今までと変わりませんが、事業者名、事業所番号等が変わり、関係の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願い致します。

団体立ち上げ当初の思いを職員一同再確認し、又十五年間の歩みの中で皆様から賜りましたたくさんの優しさやぬくもりを胸に、リ・スタート致します。今後とも変わらぬご指導ご支援の程お願い申し上げます。

新法人の概要は左記のとおりです。



名称：社会福祉法人金太郎の家

目的：当法人は、ご利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として下記の事業を行います。

## ○第二種社会福祉事業

- (イ) 老人デイサービス事業の経営・・・介護保険通所介護、地域密着型通所介護、居宅介護支援、集いの場（自主事業）の各事業
- (ロ) 訪問介護事業の経営・・・介護保険訪問介護、有償ヘルパー
- (ハ) 障がい福祉サービス事業の経営・・・居宅介護、同行援護、移動支援、福祉タクシー事業

## ○公益事業

- (イ) 地域生活支援事業・・・日中一時支援

役員：理事 七名、監事二名、評議員十五名

## 財産目録

- 資産の部 四三、五四八、一五一円
- 土地、建物等の基本財産 一一、三八五、一七〇円
- 運用財産 一八、〇〇〇、〇〇〇円
- 法人運営費 一、〇〇〇、〇〇〇円
- 固定資産物品 一一、一六二、九八一円
- 負債の部 ○円
- 差引正味財産 四三、五四八、一五一円

## 職員体制

- 正職員 十七名
- 準職員 二十三名



## ★NPO活動を振り返って

NPO法人金太郎の家 理事 小原十紀子

「ファミリーサポート金太郎の家」は、地域に暮らす高齢の方や障がいを持つ人、子育て中の家族を支援したいという思いで介護保険が始まる前年に誕生しました。原点は絵本の読み聞かせなど子育て仲間、地域でお付き合いがあった方々、福祉施設に勤務していた同僚など交流の輪の中で育まれた熱い思いの結晶でした。

その後、NPO法人格を取得し、介護保険のデイサービスを開始しましたが、介護保険外の活動である「金太郎倶楽部、大学、おちらとクラブ」など高齢者、障がい者のつどいの場、夏休み中の子供の活動、一時預かり保育、外出支援、ホームヘルプ、地域向け福祉講演会など小さなニーズ、小さな思いを受け止める活動を何よりも大切にしてきました。

監事 青木朋子

「今日もえかった」と言い合えるように。「金太郎の家のキャッチフレーズです。利用者の方の笑顔を大切に、社会福祉法人という組織になっても金太郎の家の良さが継続出来ることを期待しています。

社会福祉法人金太郎の家、設立おめでとうございます。約十五年前、小さくほのぼのと一歩を踏み出された金太郎の家が、今日のように発展を遂げられることと、誰が予想していたでしょうか。これもひとえに、阿食理事長をはじめ職員の皆さまの熱意と努力の賜物と思います。改めて、深く敬意を表します。

金太郎の家の活動には、いろいろな魅力があります。地域にしっかりと根差していること。様々なニーズにこたえようとする熱意。枠にはまらない柔軟な発想。飽くなき創意工夫。家庭的で温かみのある人の輪。NPO法人として培ってこられた魅力ある活動が、こんどは社会福祉法人という確固とした土台を得ました。



山陰中央新報よりH14.1.3



産業新聞よりH16.9.23



日日新聞よりH11.8.24

## ★お知らせコーナー★

### 『なごみ川柳会』参加者募集!

※「只今、川柳会会員募集中!」当日参加できなくても、投句だけでもOKです。4月兼題は『仲々』『食べる』の二題(それぞれ三句ずつ)又、日々思われた事など自由な題材で八句です。当日、先生に見て頂きます。月ごとの作品集に掲載します。※4月なごみ川柳会は、15日(火)です。毎回色々な話が出てきて楽しい会ですヨ!是非、一度足を運んで下さい。詳しい事は Tel 72-5110 金太郎の家 川柳会担当 西 まで

### 相談室を新築しました

第一活動棟横にあったプレハブを建て替えました。

### 4月の行事予定

- 金太郎クラブ 1日、4日、11日、18日、22日、29日
- 歌声クラブ 8日
- 川柳会 15日
- 木曜会 17日
- 金太郎大学 25日



相談室



桜がきれいでした

### 一デイサービス

- お花見昼食会 3日、7日
- 荘原J-ラサ-カ様来所 12日
- 観音寺弘法さん祭りへ 21日
- クッキング 24日

★餅つき交流会

いりすの丘ふれあいサロンで学頭地区の方との餅つき交流会があり、三名の方が参加されました。  
着くとすべにつきたてのきな粉餅と漬物でもてなして下さり、木臼と杵でつかれた餅に「ちようど良いつき方で、歯切れもいいですね。」「食べやすい餅ですね。」「と美味しく食べられました。

「久しぶりだね」「従兄です」「親戚の人だね」などと声を掛けてくださったり、こちらから話しかけられたり、たくさん会話され一時間があつたという間に過ぎました。気がつくとも最後の臼になっており、ぎりぎり丸めるお手伝いをさせて頂きました。



帰りには「笹餅するけんくーだよ」の声とつきたてのお餅のお土産をいただき、学頭地区の皆様にあたたかいおもてなしと、利用者の方の笑顔に心とお腹がほっこりあたたまったひと時でした。  
(飯塚みはる)

★湯の丘自治会の皆さんと、とんどさんを楽しみました

一月十一日(土)朝からどんよりとした曇り天気、その内ポツポツと雨も降り出し、お年寄りの方に田んぼに出かけてもらうのはムリかもしれないと心配していました。



ところが予定時刻の三時には日もさして来て、最高のとんどさんになりました。  
去年に続いて今年もご案内を頂き、利用者さん二十一名、スタッフ九名で賑やかに参加させて頂きました。予め青竹やわらをなわでからみ、お酒で周りを清め、玄関に飾った×縄やお札等を火の中に入れてられました。勢い良く燃え上がる火に思わず手を合わせて拝まれたり、ポンと勢いよくはじける青竹の音に「やーい」と叫ばれた方もありました。  
自治会の皆さんが準備して下さった大きな野焼きをほおばったり、するめいかを噛み締めたりしながら「今年はきつと風邪ひかんよ」と語り合いながら、おいしく頂きました。心より感謝しています。  
(竹内二子)

★日中一時の子供たち

この季節には珍しい春が来たような穏やかな日、庭で紙飛行機を飛ばしました。  
折り方、紙質を変えてみたり、大きさ、飛ばし方を工夫したりと豊かな発想創造力に圧倒されます。そのうち高く飛んで屋根の上に、一所懸命取ろうとしていた姿を二人の職員が見つけ二階から身を乗り出し苦労して落として下さいました。  
庭では子供達の大歓声！  
心もポカポカ温かい日になりました。ありがとうございます。  
(杉谷安子)



★なごみ川柳会作品紹介★

おおらかに 生きたいものよ 日向ぼこ 和田守 孝子

一人居を 気づかう子らの 夜の電話 長瀬 良子

白い猫 膝に乗せれば 目を閉じて 池田 勝吉

裏のやぶ 赤い椿を 敷きつめて 勝部 博子

人柄が にじみ出ます 丸い背に 坂本 章江

おじいちゃん 初ひ孫ですよ 見えませるか 西 照子

OB会 持病の数を 競い合い 齊藤 礼子

ひらひらと 花の涙が 風に乗る 藤山 政男(職員)

雪解けの 流れに乗って 春が来る 嘉藤 敬(職員)

夕暮れ時 重ねた手と手 強くなる 西 博美(職員)

へ 講師 軸 吟 松本 文子先生

思い出を いっぱい春の 皿に盛る

★介護の集いを開催しました★

平成二十五年第二回目の介護の集いを開催しました。三月八日(土)十八時三十分頃から福祉用具を取り扱っておられる「こころ」の矢野ゆかり様を講師にお迎えし、「排泄ケアで大切なこと」をお話ししていただきました。

排泄ケアで大切なことはその人に合わせてトイレの誘導をすること、上手におむつの交換をすることです。できないと決めつけず何が原因でできないかを探ることが重要で工夫によって排泄動作が変わることも分かりました。オムツもたくさん種類があり実際の当ても実演していただきました。ちょっとした工夫で気持ちよく過ごせるのではないのでしょうか。その人に合った排泄アウターと排泄インナーを選ぶことが大切で夜中に起こしてまでは交換しない方が良くのお話でした。

矢野様はオムツフィッターという資格を取っておられ、要望があればどこにでも教えに来てくださるとの事でした。

テーブル毎にオムツのサンプルをいただき、手に取り、実際にペットボトルの水を流し入れ、吸収力を確かめました。途中休憩をはさみ、厨房担当者の手作りの長芋入りの蒸しまんじゅうとお茶をいただきました。最後に三月十一日は震災三年目という事で皆さんで「花は咲く」を合唱しました。ご参加いただき、ありがとうございます。  
(池淵慶子)



★名古屋施設研修★

二月二十一日、二十二日の二日間 高尾、原の二人は愛知県社会福祉法人西春日井福祉会の施設研修に行ってきました。斐川のようにのんびりとした田園風景もあれば、高速道路に高いビルのある都会の風景。そんな環境の中にある特別養護老人ホームに併設されたデイサービス六ヶ所を見学しました。

施設は大きく設備も充実しており、金太郎の家とは違う部分がありました。利用されている方々は人生経験豊富な方々で活動内容もゲームに体験、リハビリ、脳トレ、手作業、歌、等々と金太郎の家の皆さんと変わりなかつたです。

昼食時にバイキング形式の食事をいただいたり、一枚の絵のように作られたお茶口に感動し、仕事されている職員の方々に直接お話を聞き勉強させていただきました。

この度の研修で、見て、聞いて感じた事は今後の金太郎の家で活かしていければと思います。そして金太郎の家の良さを改めて感じました。



(原 淳子)

クッキング

月に1回デイサービスご利用の皆様と一緒に昼食作りを行っています。皆さんと行う調理の中で教わる事も多く、意外な一面を見ることも出来ます。おにぎりを握ったり、野菜を切ったりと役割をこなしながら、包丁使いも慣れた手付きで材料もあつという間に切らせていただきます。味付けや味見もして頂き、一段と美味しいご飯が出来上がります。自分たちで作ったご飯を食べながら会話もはずみ、笑顔が広がりました。



(樋野 真理子)

